

第5回 KAKAMINO CUP の開催にあたって

本日は「第5回 KAKAMINO CUP」にご来場いただき、誠にありがとうございます。令和8年4月25日、記念すべき第5回大会を皆様と共に迎えられたことを心より嬉しく思います。

日頃の練習の成果を存分に発揮し、最後まで諦めずにボールを追う選手の皆さんの姿を楽しみにしております。また、ご来場の皆様におかれましては、選手たちが最高のパフォーマンスを見せられるよう、温かい拍手とご声援をお願い申し上げます。

円滑な大会運営のため、以下の点にご協力をお願いいたします。

応援について：選手への温かい拍手をお願いします。

(過度な応援やマナー違反にはご注意ください)

美化活動：ゴミの持ち帰りにご協力をお願いいたします。

安全管理：競技エリア外でのボールの使用は控え、周囲の安全に配慮してください。

本日が選手たちにとって最高の思い出となるよう、スタッフ一同努めて参ります。一日よろしくをお願いいたします。

本大会が、ソフトテニスを楽しむ皆様にとって素晴らしい交流の場となることを願い、歓迎の挨拶とさせていただきます。

令和8年4月25日

第5回 KAKAMINO CUP 実行委員会

水谷幸司・池戸一成・溝口幹彦

桑名伸好・瀬瀬龍男・古川 昇

宮本照枝

◆KakaminoCup 2026「小児ガン寄付について」

参加者様へのお願い、2026年度 KakaminoCup 推進委員会として、今年度は推進委の意向といたしまして、「名古屋小児がん基金」・【Lemonade_stand】にご協力したいと思い、参加費 ¥3000-より、試合終了後、運営費より相当額を募金に充てたいと思います。 それを持って、参加記念品として選手1名にレモネード2本をお渡しいたします。

◆Lemonade_stand 活動内容

1. はじまり：アレックス・スコットという少女

この活動の原点は、アメリカのコネチカット州に生まれたアレックス・スコット (Alexandra "Alex" Scott) という少女です。

1歳前： 神経芽細胞腫（小児がんの一種）と診断される。

4歳（2000年）： 「自分を治療してくれる病院のために、お金を集めたい」と、自宅の庭でレモネードスタンドを開く。初日の結果： 2,000ドル（当時のレートで約20万円以上）もの寄付が集まる。

2. 全米、そして世界への広がり

アレックスは、自分が病気と闘いながらも、毎年レモネードスタンドを続けました。

メディアの注目： 彼女の「自分と同じような子供たちを助けてたい」という純粋な願いが新聞やテレビで報じられ、全米各地で賛同者が現れました。

2004年： 8歳で亡くなるまでに、彼女が集めた寄付金は100万ドル（約1億円）を超えました。財団の設立： 彼女の死後、両親によって「Alex's Lemonade Stand Foundation (ALSF)」が設立され、現在も小児がん研究や患者支援のために多額の資金を集め続けています。

3. 日本における展開

普及のきっかけ： 2016年に「日本レモネードスタンド協会」が発足。学校の文化祭、地域のイベント、企業ボランティアなどで各務原市ソフトテニス連盟 KakaminoCup 推進委員会はこのような方々の活動に共感し微力ながら活動内容の紹介になればと協力させていただく事に致しました。活動の詳細は URL: <https://www.lemonadestand.jp/>

今回の実施内容について、参加皆様に強制や無論、大会の結果等に影響を与えることは御座いません。

各務原ソフトテニス連盟が営利目的で使用する事はありませんので、ご理解の程宜しくお願いいたします。

令和8年4月25日
各務原市ソフトテニス連盟
会長 水谷 幸司
KakaminoCUP 推進員長
溝口 幹彦